

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年4月14日

【四半期会計期間】 第49期第2四半期(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

【会社名】 株式会社カワサキ

【英訳名】 Kawasaki & Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川崎 治

【本店の所在の場所】 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

【電話番号】 072-439-8011(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 池田 喜章

【最寄りの連絡場所】 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

【電話番号】 072-439-8011(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 池田 喜章

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期 連結累計期間	第49期 第2四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自 2018年9月1日 至 2019年2月28日	自 2019年9月1日 至 2020年2月29日	自 2018年9月1日 至 2019年8月31日
売上高 (千円)	1,020,594	864,149	1,903,915
経常利益 (千円)	182,871	196,477	361,659
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	125,730	132,599	241,266
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	125,513	132,599	241,048
純資産額 (千円)	4,015,666	4,210,082	4,104,342
総資産額 (千円)	6,894,826	6,517,365	6,649,964
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	58.51	61.71	112.28
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	58.2	64.6	61.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	442,524	160,705	906,921
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,885	4,008	111,248
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	359,400	159,400	753,980
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	162,477	122,215	124,903

回次	第48期 第2四半期 連結会計期間	第49期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年12月1日 至 2019年2月28日	自 2019年12月1日 至 2020年2月29日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	42.16	26.46

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済が緩やかに減速する反面、企業収益や雇用環境に改善が見られ緩やかな回復基調となりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により国内景気の先行きへの不透明感が強まっている状況にあります。

このような経営環境下、当社グループの服飾事業におきましては、引き続き利益体質の強化を図るため、不採算店舗からの撤退や一層のコストダウンの推進、販売在庫品目の整理等に取り組みました。賃貸・倉庫事業におきましては、前年度に取得した太陽光発電所の稼働などさらなる事業拡大に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は売上高864,149千円(前年同四半期連結累計期間比15.3%の減少)となったものの、営業利益197,392千円(前年同四半期連結累計期間比8.0%の増加)、経常利益は196,477千円(前年同四半期連結累計期間比7.4%の増加)、親会社株主に帰属する純利益は132,599千円(前年同四半期連結累計期間比5.5%の増加)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (服飾事業)

当事業部門におきましては、引続き利益体質の強化を図るため、不採算店舗からの撤退や一層のコストダウンの推進、販売在庫品目の整理を図りました。その結果、売上高は362,113千円(前年同四半期連結累計期間比31.4%の減少)、営業損失が1,870千円(前年同四半期連結累計期間は22,610千円の営業損失)となりました。

#### (賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、前年度に取得した太陽光発電所の安定した稼働に取り組み、また経年劣化により傷んだ倉庫の補修を行いました。その結果、売上高は502,035千円(前年同四半期連結累計期間比2.0%の増加)、営業利益は198,717千円(前年同四半期連結累計期間比3.0%の減少)となりました。

## 財政状態の状況

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて4,913千円(0.8%)減少し、605,118千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が2,687千円、前渡金(その他)が24,288千円減少し、売掛金が7,537千円、商品及び製品が20,965千円それぞれ増加したことによるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて127,685千円(2.1%)減少し、5,912,246千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が99,329千円減少したことによるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて117,248千円(8.3%)減少し、1,290,902千円となりました。この主な要因は、一年以内返済予定の長期借入金が14,820千円、未払法人税等が38,416千円、未払消費税等(その他)が55,818千円、未払金(その他)が8,738千円それぞれ減少したことによるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて121,091千円(10.6%)減少し、1,016,380千円となりました。この主な要因は、長期借入金117,720千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて105,739千円(2.6%)増加し、4,210,082千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を132,599千円計上したものの、配当による減少26,860千円があったことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて2,687千円(2.2%)減少し、122,215千円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加3,029千円による資金の減少、未払消費税等の減少55,818千円等による資金の減少及び税金等調整前四半期純利益200,149千円、減価償却費131,571千円等による資金の増加で、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは160,705千円の収入(前年同四半期連結累計期間は442,524千円の収入)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産取得による支出4,008千円があったことにより、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは4,008千円の支出(前年同四半期連結累計期間は3,885千円の支出)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出132,540千円及び配当金の支払いによる支出26,860千円により資金が減少し、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは159,400千円の支出(前年同四半期連結累計期間は359,400千円の支出)となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,400,000
計	11,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2020年4月14日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	2,901,000	2,901,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は、100株 であります。
計	2,901,000	2,901,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月1日 ～2020年2月29日		2,901,000		564,300		465,937

(5) 【大株主の状況】

2020年2月29日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社KWS	大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目6番43号	861,200	40.08
川崎 貴美子	大阪府泉北郡忠岡町	182,000	8.47
川崎 久典	大阪府泉北郡忠岡町	139,000	6.47
株式会社池田泉州銀行	大阪市北区茶屋町18番14号	50,000	2.33
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2丁目10番17号	50,000	2.33
光通信株式会社	東京都豊島区西池袋1丁目4番10号	48,900	2.28
川崎 悟	東京都足立区	48,400	2.25
岩切 雅代	兵庫県西宮市	35,400	1.65
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	26,600	1.24
吉田 勝利	大阪市西淀川区	22,100	1.03
嘉祥寺 晶子	大阪府和泉市	19,000	0.88
計	-	1,482,600	69.00

(注) 上記の他、当社は自己株式752千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合25.92%)を保有しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 752,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,148,100	21,481	
単元未満株式	普通株式 800		
発行済株式総数	2,901,000		
総株主の議決権		21,481	

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式は、全て当社の保有の自己株式であります。



【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社カワサキ	大阪府泉北郡忠岡町新浜2 丁目9番10号	752,100		752,100	25.92
計		752,100		752,100	25.92

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年12月1日から2020年2月29日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年2月29日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	124,903	122,215
受取手形及び売掛金	67,721	70,751
商品及び製品	323,728	344,693
原材料及び貯蔵品	49,854	50,787
その他	43,940	18,748
貸倒引当金	115	2,077
流動資産合計	610,032	605,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,367,909	2,268,579
機械装置及び運搬具（純額）	361,467	339,735
土地	3,019,095	3,019,095
その他（純額）	10,536	9,403
有形固定資産合計	5,759,008	5,636,814
無形固定資産	37,076	32,267
投資その他の資産		
繰延税金資産	76,096	77,203
その他	176,481	174,691
貸倒引当金	8,731	8,731
投資その他の資産合計	243,847	243,164
固定資産合計	6,039,932	5,912,246
資産合計	6,649,964	6,517,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,307	7,567
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	279,900	265,080
未払費用	42,945	40,368
未払法人税等	113,153	74,737
賞与引当金	2,554	2,290
その他	214,289	150,859
流動負債合計	1,408,150	1,290,902
固定負債		
長期借入金	485,440	367,720
役員退職慰労引当金	202,716	203,783
資産除去債務	220,014	220,576
その他	229,300	224,300
固定負債合計	1,137,471	1,016,380
負債合計	2,545,621	2,307,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	3,547,835	3,653,575
自己株式	476,131	476,131
株主資本合計	4,104,342	4,210,082
純資産合計	4,104,342	4,210,082
負債純資産合計	6,649,964	6,517,365

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,020,594	864,149
売上原価	504,242	415,829
売上総利益	516,351	448,319
販売費及び一般管理費	333,516	250,926
営業利益	182,835	197,392
営業外収益		
受取利息	0	0
還付加算金	612	-
受取保険金	730	-
その他	1,158	575
営業外収益合計	2,501	575
営業外費用		
支払利息	1,831	1,286
為替差損	198	141
その他	435	62
営業外費用合計	2,465	1,490
経常利益	182,871	196,477
特別利益		
受取保険金	90,298	3,671
特別利益合計	90,298	3,671
特別損失		
災害による損失	80,993	-
特別損失合計	80,993	-
税金等調整前四半期純利益	192,176	200,149
法人税、住民税及び事業税	82,801	68,656
法人税等調整額	16,355	1,106
法人税等合計	66,446	67,549
四半期純利益	125,730	132,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,730	132,599

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
四半期純利益	125,730	132,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	-
その他の包括利益合計	217	-
四半期包括利益	125,513	132,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,513	132,599
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	192,176	200,149
減価償却費	130,276	131,571
支払利息	1,831	1,286
為替差損益(は益)	166	14
受取保険金	90,298	3,671
売上債権の増減額(は増加)	11,899	3,029
たな卸資産の増減額(は増加)	26,706	21,898
仕入債務の増減額(は減少)	1,765	2,260
通貨スワップ契約等の増減額(は減少)	73	-
その他	191,102	41,199
小計	465,219	265,453
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	1,801	1,346
保険金の受取額	1,837	3,671
法人税等の支払額	22,730	107,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,524	160,705
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	6,250	4,008
差入保証金の回収による収入	1,351	-
その他	1,012	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,885	4,008
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	-
長期借入金の返済による支出	132,540	132,540
配当金の支払額	26,860	26,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	359,400	159,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	166	14
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	79,405	2,687
現金及び現金同等物の期首残高	83,072	124,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	162,477	122,215

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
給与及び賞与	145,208千円	92,665千円
賞与引当金繰入額	3,415 "	2,290 "
役員退職慰労引当金繰入額	2,700 "	2,500 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
現金及び預金	162,477千円	122,215千円
現金及び現金同等物	162,477千円	122,215千円



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月12日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2018年8月31日	2018年11月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月10日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2019年2月28日	2019年5月10日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月11日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月14日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2020年2月29日	2020年5月12日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	528,189	492,405	1,020,594		1,020,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	528,189	492,405	1,020,594		1,020,594
セグメント利益又は 損失( )	22,610	204,884	182,274	561	182,835

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額は、セグメント間取引消去561千円であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	362,113	502,035	864,149		864,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	362,113	502,035	864,149		864,149
セグメント利益又は 損失( )	1,870	198,717	196,847	544	197,392

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額は、セグメント間取引消去544千円であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額	58円51銭	61円71銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	125,730	132,599
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	125,730	132,599
普通株式の期中平均株式数(株)	2,148,808	2,148,808

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

第49期(2019年9月1日から2020年8月31日まで)中間配当については、2020年4月14日開催の取締役会において、2020年2月29日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	26,860千円
1株当たりの金額	12円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年5月12日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月14日

株式会社カワサキ  
取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高 田 篤 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 池 上 由 香 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワサキの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年12月1日から2020年2月29日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年2月29日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワサキ及び連結子会社の2020年2月29日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。